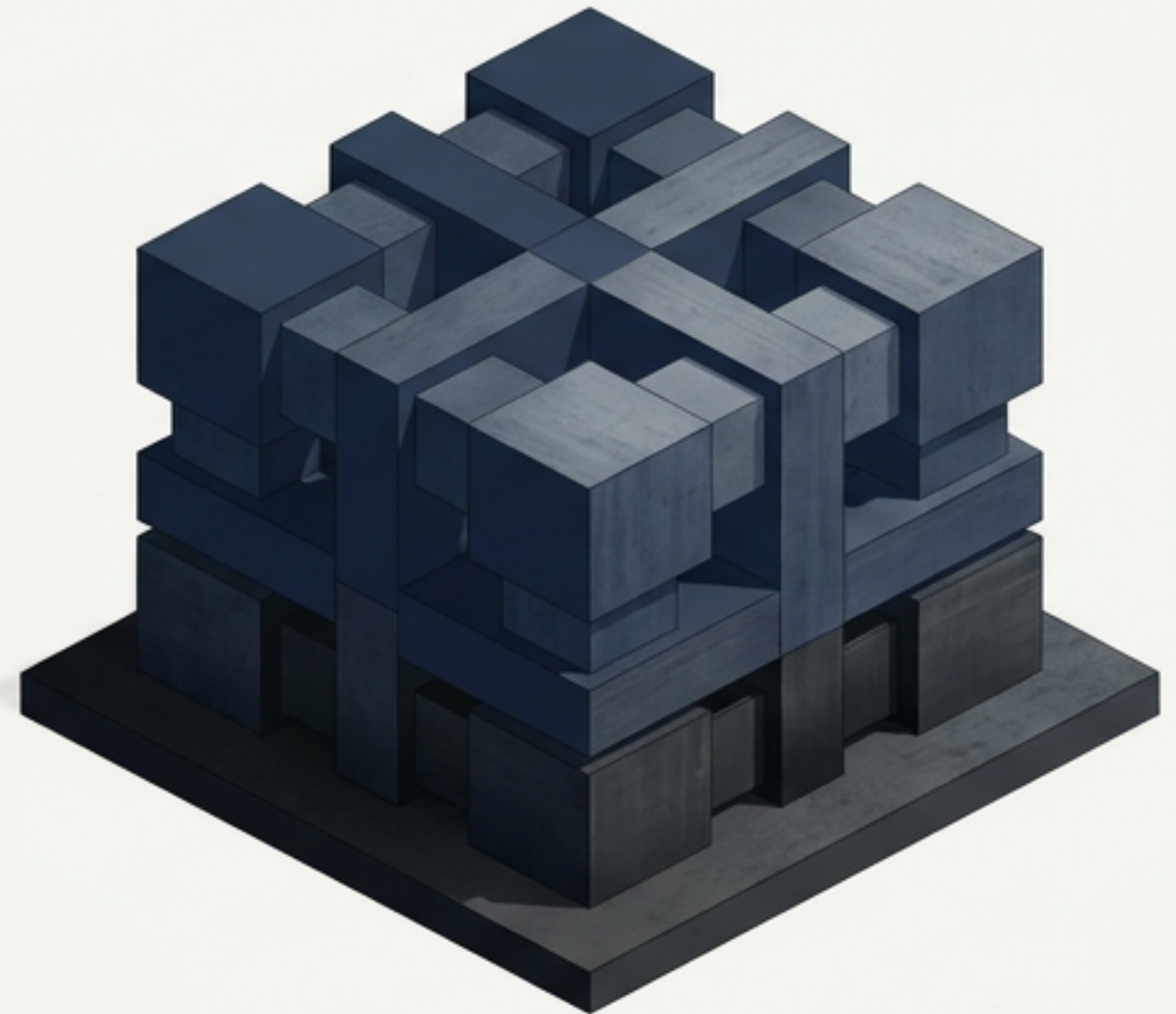
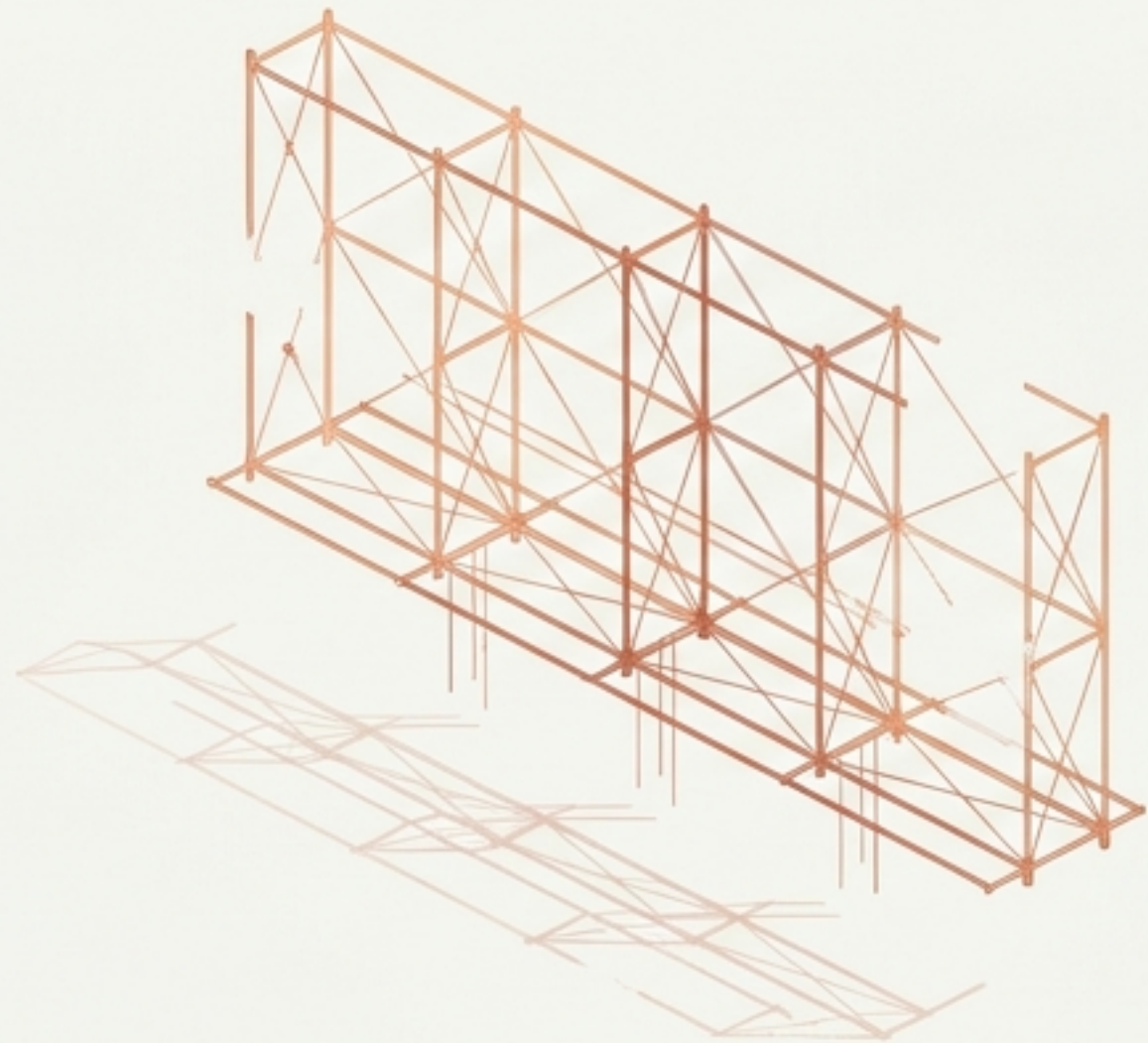
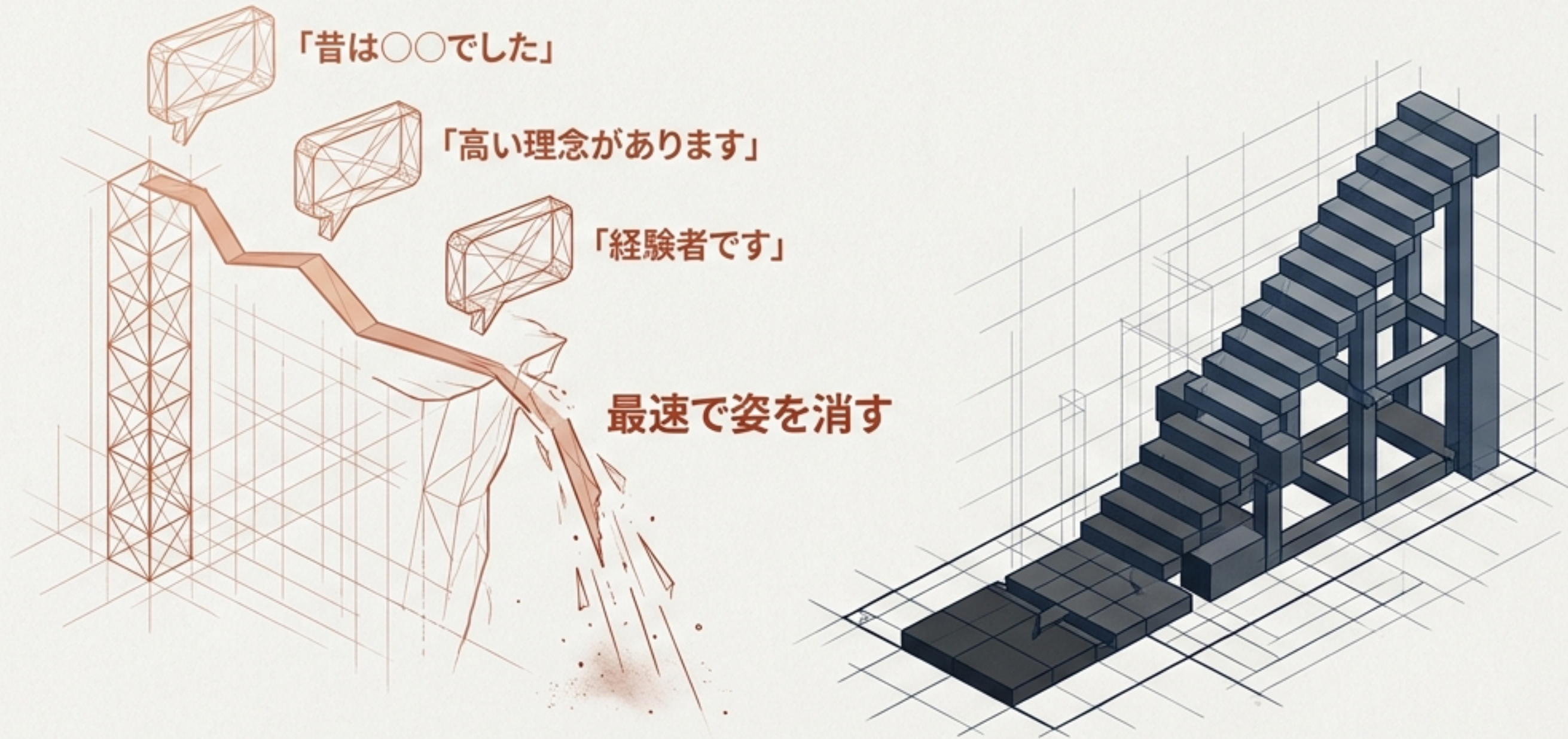


自己紹介で居場所を取るな。 行動で居場所を作れ。

なぜ「過去を語る人」は去り、「今動く人」が残るのか？



未知の環境における「積極性」のパラドックス



頼まれてもない過去の実績を語り始める人は、社交的でエネルギーに溢れているように見える。
しかし、彼らはなぜか最も早くその場から去っていく。

善意の仮面を被った 「承認の前払い」要求

「早く馴染もう」「丁寧に説明しよう」
という前向きな善意。

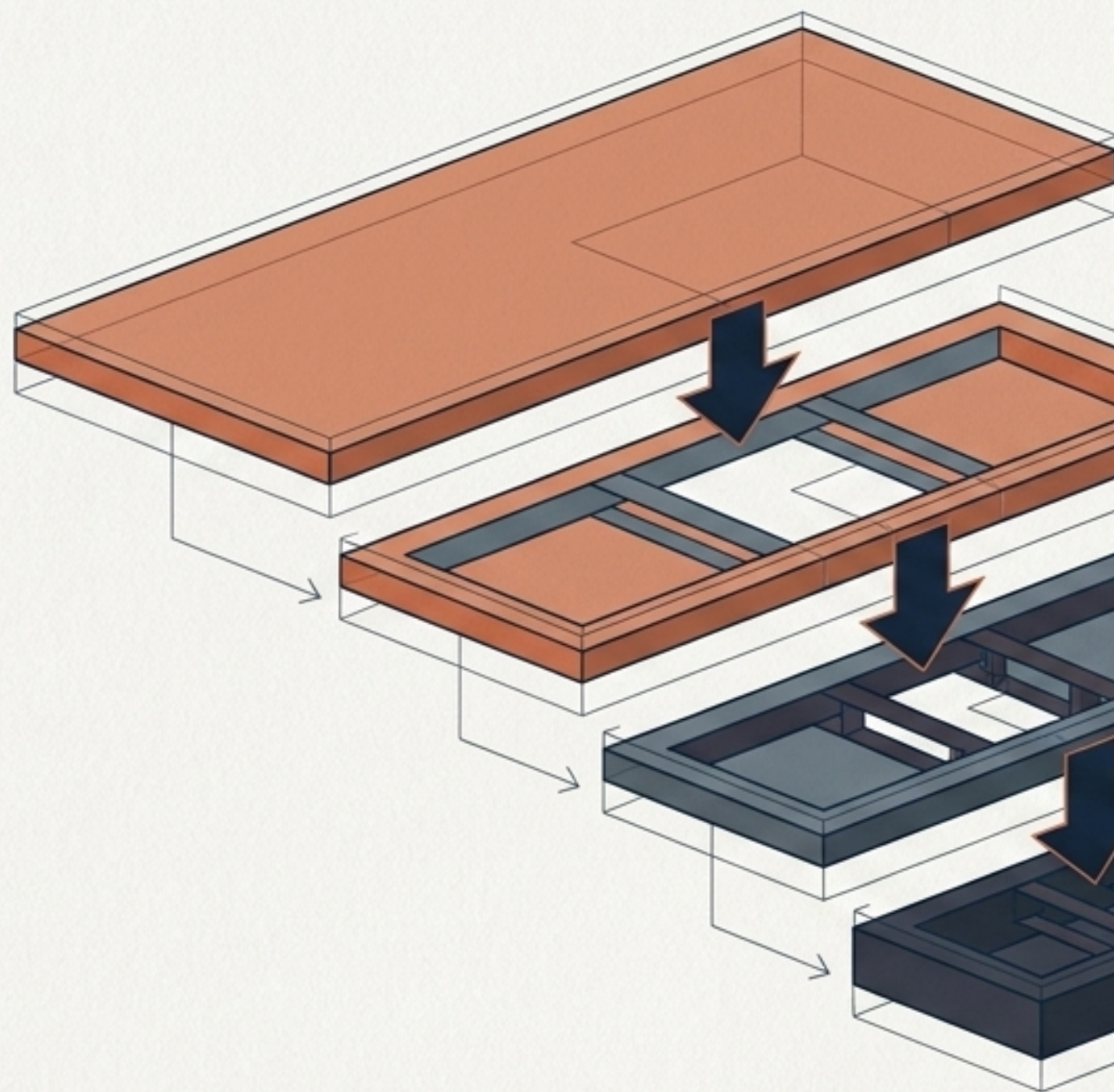
強烈な不安と
承認欲求。

【承認の前払い (Pre-paid Approval)】

集団への「貢献」をする前に、自分の価値を
無条件で認めさせようとする行為。

「私は価値ある人間なので、最初から格上の前提
で扱ってください」という自己評価の押し売り。

理想の自分という名の「重い鎖」



大言壮語 (Exaggeration)

「経験者です」「人を指導してきました」と語る。

ハードルの高騰 (Raised Bar)

初期の小さな失敗すら許されなくなる。

教えを乞えない (Inability to Learn)

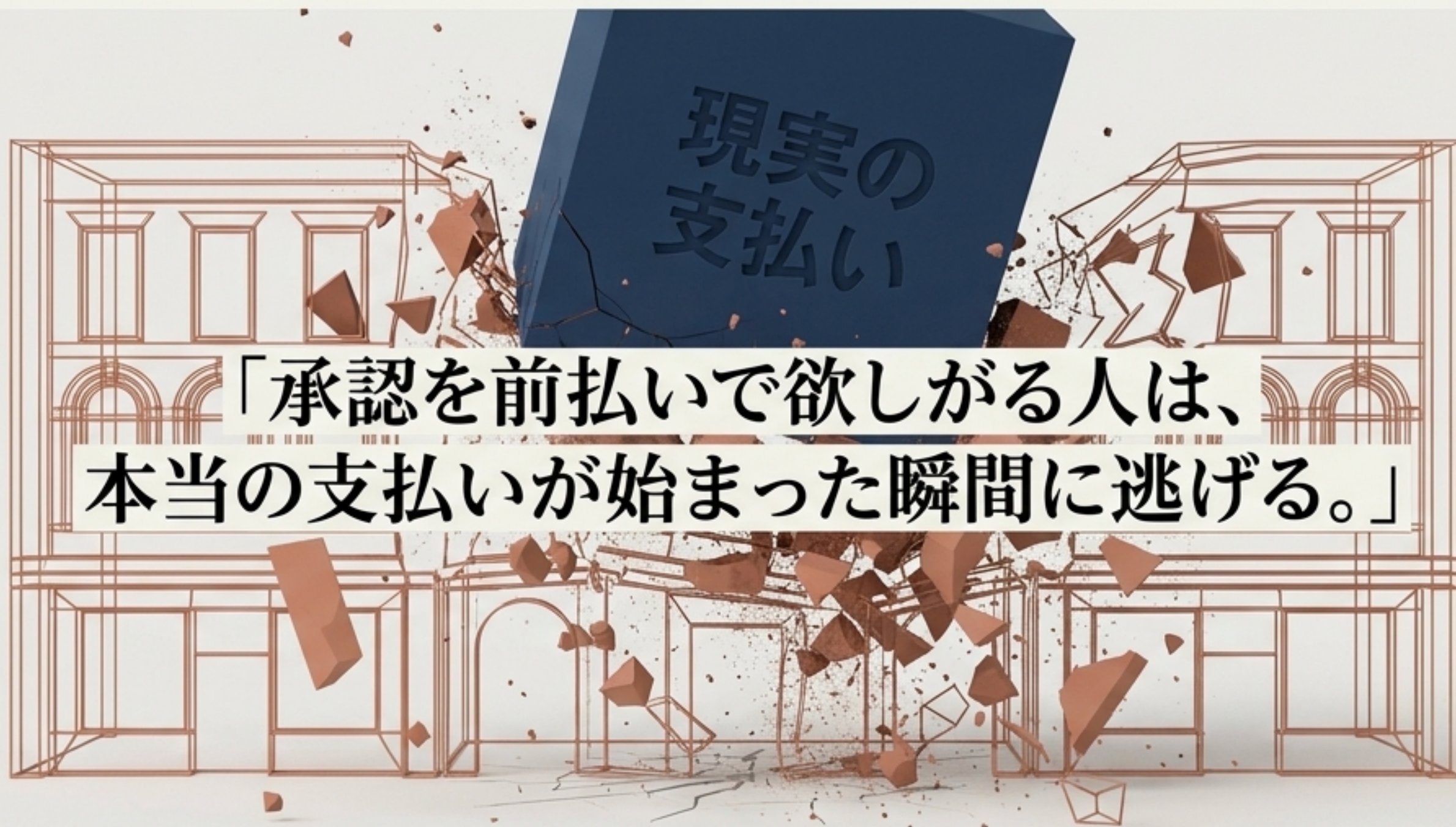
新人のように素直に教わる側に回れなくなる。

ギャップの拒絶 (Denial)

泥臭い下積み行動とのギャップを受け入れられなくなる。

自分で自分を大きく見せれば見せるほど、その後の現実のハードルが自らの首を絞める鎖に変わる。

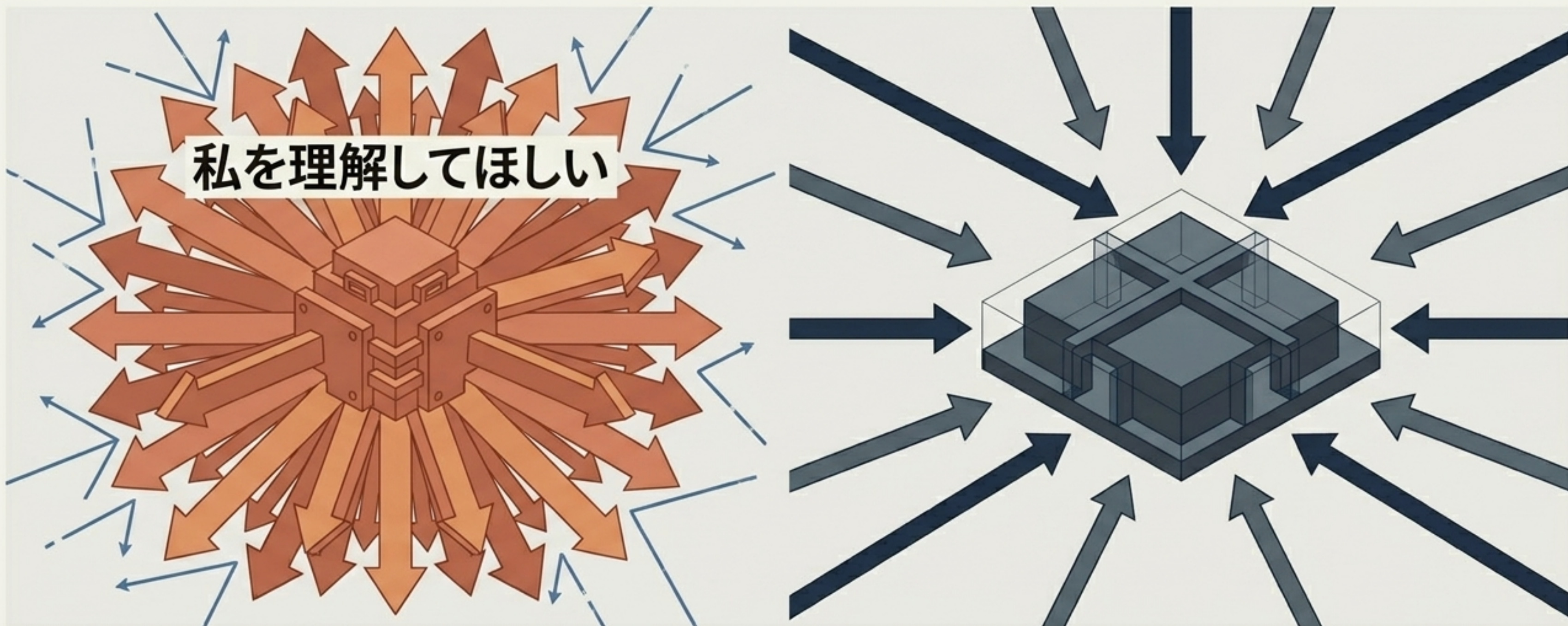
お祝い期間の終焉と、逃亡の瞬間



「承認を前払いで欲しがる人は、
本当の支払いが始まった瞬間に逃げる。」

- ・新参者としての特別扱いは終わる。
- ・地味な役割の引き受けや、未熟さの修正という「支払い」が求められる。
- ・その瞬間、「このやり方は合わない」「正當に評価されない」と環境のせいにして去っていく。

「分かってもらいたい」が強い人ほど、周囲を「分かってとしない」

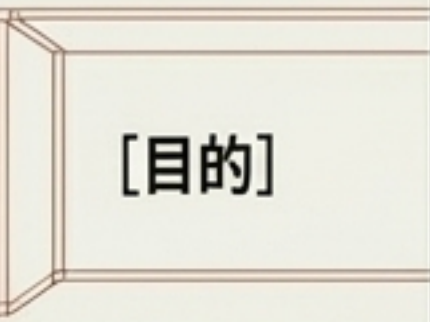
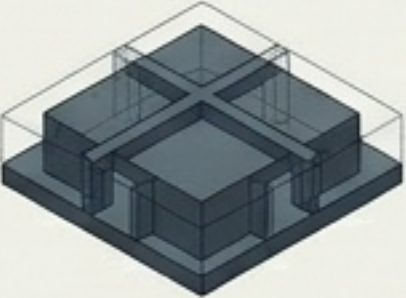
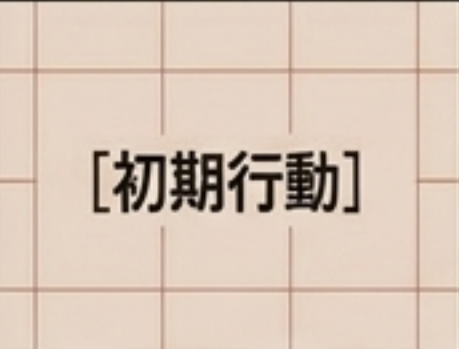
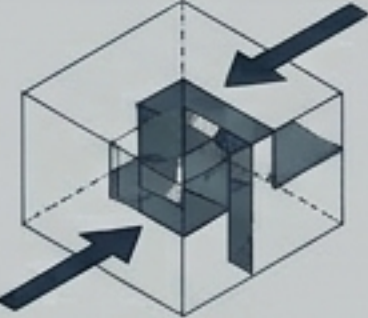
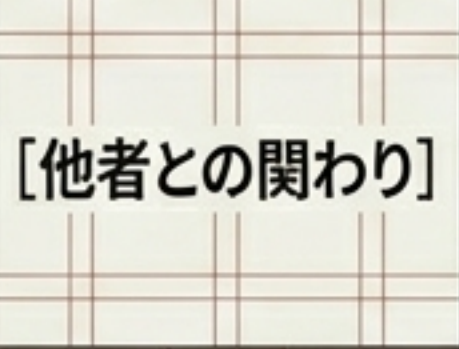
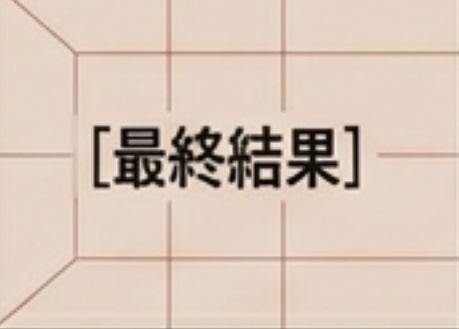
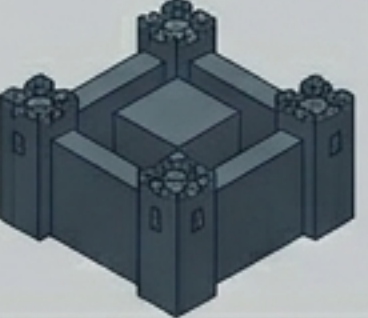


・ 真の自己開示とは、情報量ではない。

・ 相手との関係性や文脈に応じ、必要とされている配慮を必要な分だけ手渡すこと。

・ 求められていないプロフィールを大量に送りつけるのは、親密さではなく「距離感の欠如」。

アプローチの断層：演者 vs 貢献者

	演者 (Actor)	貢献者 (Contributor)
 [目的]	実力を示す前の 「承認の回収」 	環境への 「適応と貢献」 
 [初期行動]	頼まれていない 過去の自己紹介 	徹底的な周囲の観察と ルールの理解 
 [他者との関わり]	周囲を「観客席」に変え、 自分をプレゼンする 	目立たない「役割」を引き受け、 他者の負担を減らす 
 [最終結果]	理想の檻に閉じこもり、 逃亡する 	代替不可能な 本物の信用を築く 

長続きする人が回し続ける「正常なサイクル」

【信用される】

小さな「頼まれごと」を返し、
失敗を素直に修正することで、
自然と居場所が作られる。

【理解する】

この場所の目的は何か。
どんな行動が歓迎されるか、
徹底的に観察する。



驚くほど静かに始まる。

【貢献する】

椅子の片付けや準備など、目立たず誰かの
負担を減らす行動を即座に実践する。

言葉は未来の約束、 行動は現在の証拠

言葉

言葉：「これから頑張るかもしれない」という未来の不確かな約束。

行動：「偽りのない現在の証拠」。

行動

100回の自己紹介プレゼンよりも、たった1回の誠実な行動が勝る。
私たちが最終的に信用を預けるのは、確かな証拠を出した人だけである。

本性は、日々の振る舞いから勝手に「漏れ出す」



【技術】

無駄のない動きを見れば、
一瞬で伝わる。



【気配り】

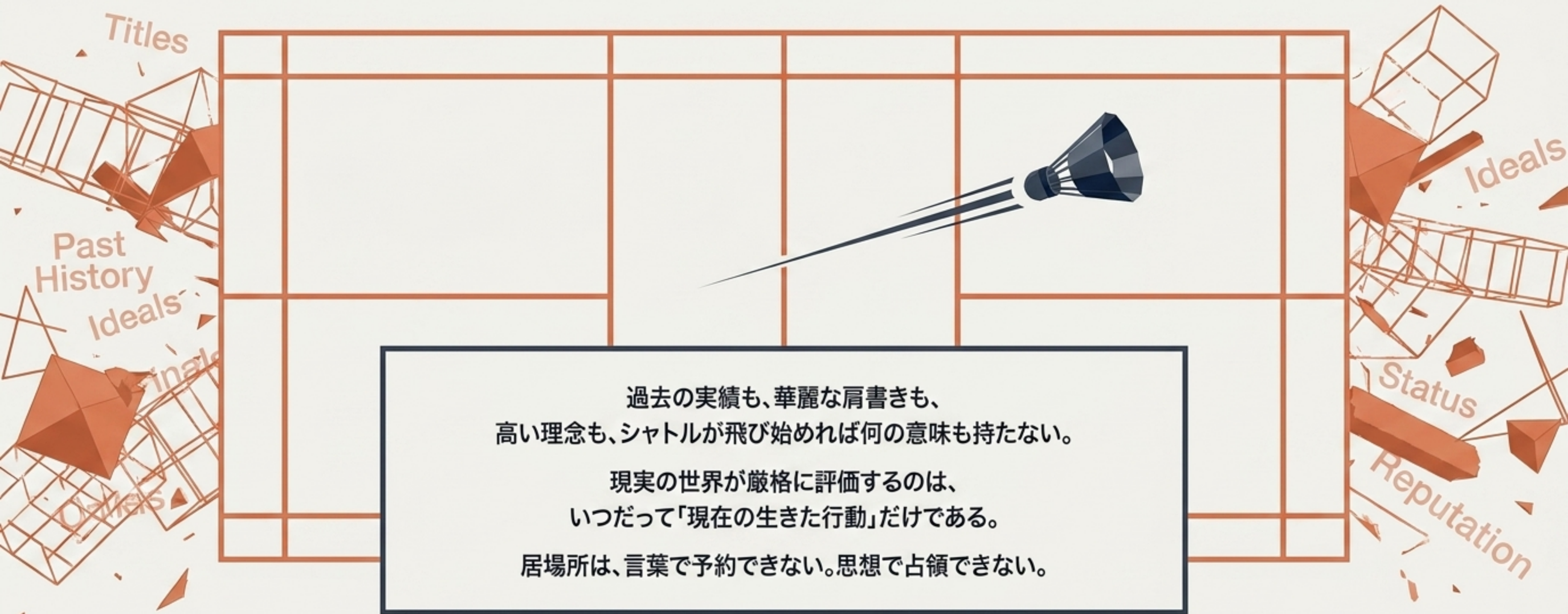
誰も見ていない場所での、
スマートな整え方を見れば分かる。



【誠実さ】

予期せぬ失敗をした後の、
責任ある態度で見えてくる。

コートの上の絶対原則：シャトルが飛び始めれば



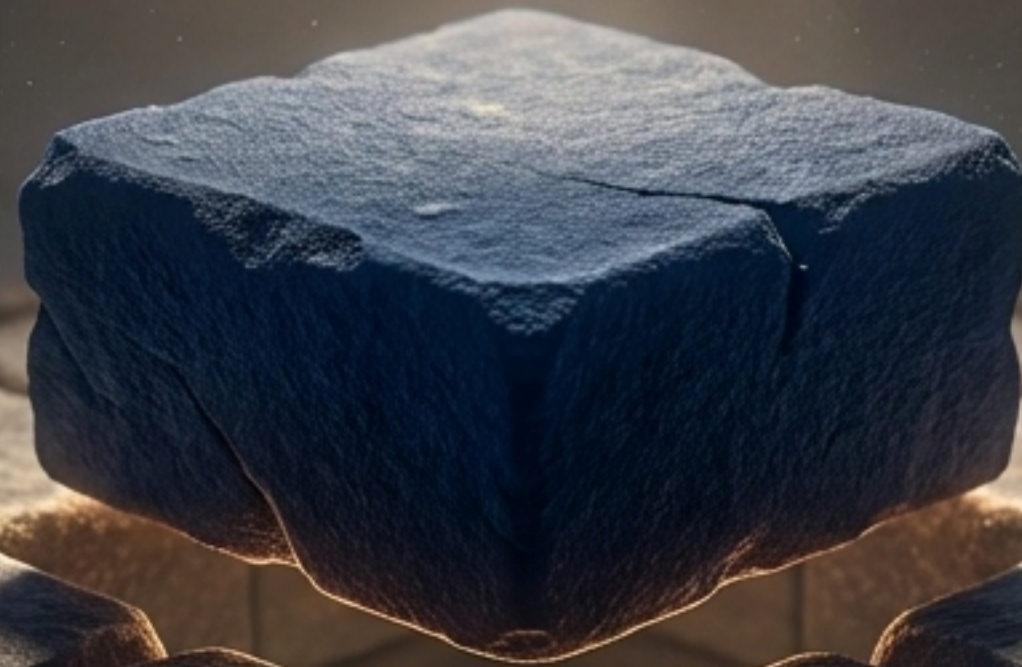
過去の実績も、華麗な肩書きも、
高い理念も、シャトルが飛び始めれば何の意味も持たない。

現実の世界が厳格に評価するのは、
いつだって「現在の生きた行動」だけである。

居場所は、言葉で予約できない。思想で占領できない。

静かで圧倒的な反復が、あなたを「本物」にする

- ・長続きする人は、自分を説明しない。役に立つことで何者かを証明する。
- ・話が上手でなくてもいい。過去の実績などなくてもいい。
- ・今日、目の前の人のために小さな役割を一つ引き受け、明日もそれを繰り返す。



自己紹介で居場所を取るな。行動で居場所を作れ。